

令和元年度 第42回全国高等学校柔道選手権大会群馬県予選 実施要項

- 主催 群馬県高等学校体育連盟 群馬県教育委員会
主管 群馬県高等学校体育連盟柔道専門部
後援 群馬県柔道連盟
- 日時 令和2年1月11日(土) 午前10時開始 男女個人試合
1月12日(日) 午前10時開始 男女団体試合
- 会場 ALSOK 群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんま武道館 第一道場
前橋市関根町800 電話 027-234-5555
- 競技規定 国際柔道連盟試合審判規定(最新版)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
- (1) 団体試合
ア 試合時間は3分とする。
イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。
ウ チームの勝敗の内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「競技方法」で定める。
- (2) 個人試合
ア 試合時間は3分とする。
イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。
ウ 試合終了時に技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決める。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
- 競技方法 (1) 団体試合
- ①男子団体試合
ア トーナメント戦を行う。
イ 各チーム間の試合は勝ち抜き試合とする。また試合ごとにオーダーの変更ができる。
ウ 大将同士が引き分けの場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とし、試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。
エ 決勝で敗退したチームと準決勝で敗退した2チームの3校で、全国高等学校柔道選手権大会出場決定戦をトーナメント方式で行う。決勝で敗退したチームをシードとする。
- ②女子団体試合
ア 各チーム間の試合は点取り試合とする。
イ [1] 参加校が7校以上の場合、トーナメント戦を行う。決勝で敗退したチームと準決勝で敗退した2チームの3校で、全国高等学校柔道選手権大会出場決定戦をトーナメント方式で行う。決勝で敗退したチームをシードとする。
[2] 参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。
ウ リーグ戦において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。
※ 試合は各チーム3名で行い、試合ごとのオーダー変更は行わない。
※ リーグ戦において、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合は、代表戦をトーナメント方式で行う。
エ チーム対チームの勝敗は以下の項目に従って決定する。
[1] 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
[2] [1] で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
*ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
[3] [2] で同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
[4] [3] で同等の場合は代表戦を行う。
代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかない対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

	(2) 男女個人試合 ア トーナメント戦を行う。 イ 決勝で敗退した選手と準決勝で敗退した選手2名の3名で、全国高等学校柔道選手権大会出場決定戦をトーナメント方式で行う。決勝で敗退した選手をシードとする。
引率・監督	(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(ただし、公立学校にあつては教員とする。) (2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。 (3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
参加資格	(1) 参加選手は、本連盟柔道専門部に登録した者であつて、平成13年4月2日以降に生れた者で1、2年生に限る。但し、同一学年での出場は1回限りとする。 (2) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。 (3) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。 (4) 参加選手は予め健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
出場制限	(1) 男子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手5名、補欠1名、計7名とする。 選手2名以上でエントリーできる。 (2) 女子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手3名、補欠2名、計6名とする。 選手の配列は、先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別級とする。但し、体重の軽いものは重い階級に出場できる。また補欠は該当する階級に出場できる。 (3) 男子個人試合 1校監督1名、選手各階級4名以内の計15名以内とする。(無差別の選手は他の階級を兼ねる事はできない) 階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別の5階級とする。 (4) 女子個人試合 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別の5階級とする。
表彰	男女団体試合の優勝校に優勝カップ、1～4位校に表彰状を授与する。 個人試合の各階級1～4位に表彰状を授与する。
参加料	1チーム 3,500円 個人試合 1名 1,000円 大会当日に受付で監督が納入する。
申し込み	12月2日(月)までに必着。下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。 〒370-0861 群馬県高崎市八千代町2丁目4番1号 電話 027-324-0074 高崎高校 田中 利明 メールアドレス toshi-tanaka@edu-g.gsn.ed.jp
組合せ会議	12月11日(水)午前9時30分から県立渋川青翠高等学校(渋川市渋川3792-1)で常任委員会を行う。 午後2時30分から常任委員、各校代表者で組み合わせ抽選を行う。
選手変更	個人試合の選手の変更は認めない。 大会前日の午後5時までに、委員長に連絡する。 団体試合の変更は、男子1名、女子1名を限度とする。伝染病その他天災による場合は特例を認める。 大会当日、当該校長の証明書、医師の診断書、柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。
計量	1月11日(土)、午前8時30分～9時20分までに試合会場で行う。(時間内計量)
受付	大会当日、監督が午前8時30分～9時20分までに行う。
監督会議	大会当日、午前9時30分から第4会議室で行う。
その他	(1) 選手は所定のゼッケンをつける。 (2) 大会当日、引率者は各自昼食を用意する。 (3) 全国大会出場権 団体戦上位2校並びに個人戦各階級上位2名は令和2年3月21日(土)・22日(日)前橋市 ALSOK ぐんまアリーナで行われる第42回全国高等学校柔道選手権大会の出場権を得る。但し団体戦における選手の人数は、男子は5名、女子は3名が出場の条件となる。 (4) 女子団体上位4チームは次年度高校総体のシード権を得る。 (5) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。 1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。 2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。) 3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。 4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。